

問1 昭和五十年代と平成十二年ごろの旭川市周辺の状況を比較した資料において、この地域で見られる土地利用の変化として最も適切なものはどれですか。 (2016年 京都公立入試 類似)

- | | | | |
|-------------------------------------|--|--------------------------------------|--|
| 1. かつての田畑や空き地が、住宅地や発電所などの施設へと転換された。 | 2. 住宅地として利用されていた場所が、大規模な水田や畑へと整備し直された。 | 3. 広大な森林地帯が、すべて道路の廃止に伴って未開発の空き地となった。 | 4. 発電所などの公共施設が撤去され、その跡地がすべて伝統的な農地に復元された。 |
|-------------------------------------|--|--------------------------------------|--|

問2 北海道の根釧台地など、夏の気温が低く稲作に適さない地域で見られる、広大な土地を利用して乳牛を飼育し、生乳やバターなどを生産する農業形態を何とといいますか。 (2019年 岡山公立入試 類似)

- | | | | |
|-------|---------|-----------|---------|
| 1. 酪農 | 2. 果樹栽培 | 3. 稲作単一経営 | 4. 施設園芸 |
|-------|---------|-----------|---------|

問3 北海道の農業産出額において、畜産が全体の中央値や平均を大きく上回り、5割を超える高い割合を占めている理由として最も適切な説明はどれですか。 (2016年 岩手県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 冷涼な気候と広大な土地を活かし、酪農や肉用牛の飼育が大規模に行われているため | 2. 都市近郊の立地を活かし、新鮮な豚肉や鶏肉を供給する施設園芸が発達したため | 3. 水田単作地帯から、野菜や果樹を中心とした多角経営への転換が最も進んだため | 4. 温暖な気候を利用して、牛の放牧と米の二毛作を組み合わせた生産が行われているため |
|---|---|---|--|

問4 かつての石狩平野の自然環境と、その土地で行われた開発の背景について説明した文として、最も適切なものはどれですか。

(2021年 神奈川県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 火山噴出物が堆積した水はけの良い土地であったため、大規模なかんがい施設を整備して畑作を行った。 | 2. 植物の遺体が分解されずに堆積した農業に適さない湿地帯であったため、排水や客土による土地改良を行った。 | 3. 海岸近くの浅瀬を堤防で囲んで干し上げた土地であったため、塩害を防ぐための水路整備を優先した。 | 4. サンゴ礁が隆起してできた保水力のない土地であったため、地下ダムを建設して農業用水を確保した。 |
|--|---|---|---|

問5 北海道のオホーツク海沿岸で見られる流氷と、その地域への影響について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2018年 山形県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. シベリア沿岸で生まれた氷が南下してくるもので、冬の重要な観光資源として活用されている。 | 2. 暖流の影響で海水が蒸発して氷になったもので、夏の冷害を引き起こす原因となっている。 | 3. 太平洋側から北上してくる大規模な氷山で、冬の間の船舶の往來をすべて止めている。 | 4. 日本海の雪が海に流れ出て固まったもので、主に水田の灌漑用水として利用されている。 |
|--|--|--|---|

問6 北海道東部の釧路市周辺には広大な湿地が広がっています。この地域の自然環境と農業について述べた文として正しいものはどれですか。 (2021年 宮城県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 夏季に発生する霧の影響で気温が上がりにくいため、稲作よりも、冷涼な気候に適した酪農が盛んに行われている。 | 2. 冬に北西から吹く湿った季節風が山脈に突き当たり、世界有数の豪雪地帯となるため、冬の間の農業は行われない。 | 3. 広大な湿地を干拓して大規模な水田地帯が作られており、石狩平野と並ぶ北海道有数の米の産地となっている。 | 4. 年間を通じて温暖な対馬海流の影響を強く受けているため、冬でも雪がほとんど降らず、野菜の促成栽培が行われている。 |
|---|---|---|--|

問7 日本の地方別統計において、北海道地方は耕地面積が極めて広い一方で、農家数は他地方と比較してそれほど多くありません。この「農家数に対する耕地面積の割合が非常に高い」という状況が、北海道の農業経営にどのような影響を与えているか、正しく説明しているものはどれですか。 (2019年 高知公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 一戸あたりの作業範囲が広いため、生産効率を高める機械化が不可欠となっている | 2. 農家一戸あたりの土地が狭すぎため、複数の農家が共同で土地を管理している | 3. 労働力が余っているため、機械を使わずに手作業による丁寧な栽培が行われている | 4. 土地の生産性が低いため、農業を営む世帯が減少し、耕作放棄地が最も多くなっている |
|--|--|--|--|

問8 日本の地理に関連して、北海道の知床や鹿児島県の屋久島は、その貴重な自然環境が評価され、「世界遺産リスト」に登録されています。このように、世界の文化遺産や自然遺産の保護を推進している国際機関はどれですか。 (2016年 大分県公立入試 類似)

- | | | | |
|---------|-----------|-----------|--------------|
| 1. ユネスコ | 2. 国連児童基金 | 3. 世界貿易機関 | 4. 東南アジア諸国連合 |
|---------|-----------|-----------|--------------|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 かつての田畑や空き地が、住宅地や発電所などの施設へと転換された。	昭和から平成にかけて、旭川市のような地方中心都市の周辺部では都市化が進展しました。1970年代（昭和五十年代）にはまだ多く残っていた田畑や空き地が、2000年（平成十二年）ごろには、増加する人口を受け入れるための住宅地や、都市活動を支えるための発電所といった施設へと姿を変えています。これは、土地がより高度で集約的な用途へと転換されたことを示しています。
問2	答え 1 酪農	北海道東部の根釧台地では、夏でも気温が上がりにくい冷涼な気候を活かして、広大な土地で乳牛を育てる酪農が盛んに行われています。ここでは、大型機械を導入した大規模経営が行われており、日本全体の生乳生産において極めて重要な役割を果たしています。
問3	答え 1 冷涼な気候と広大な土地を活かし、酪農や肉用牛の飼育が大規模に行われているため	北海道の農業は、1戸あたりの耕地面積が非常に広く、大型機械を用いた効率的な生産が行われています。特に冷涼な気候は乳牛の飼育に適しており、広大な原野や草地を利用した大規模な酪農が営まれていることから、産出額に占める畜産の割合が非常に高くなっています。これに対して、都市近郊型農業や温暖な気候を利用した促成栽培は、他の地域の特色です。
問4	答え 2 植物の遺体が分解されずに堆積した農業に適さない湿地帯であったため、排水や客土による土地改良を行った。	石狩平野の開拓における最大の課題は、泥炭地と呼ばれる湿地帯の克服でした。泥炭地は植物が腐敗しきらずに積もったもので、そのままでは農業に適さないため、水を抜くための排水技術と、別の場所から土を運び入れる客土という高度な土地改良技術が組み合わせられました。他の選択肢にある「火山噴出物の土地」はシラス台地、「サンゴ礁の土地」は沖縄・南西諸島に関する記述であり、石狩平野の歴史的背景とは異なります。
問5	答え 1 シベリア沿岸で生まれた氷が南下してくるもので、冬の重要な観光資源として活用されている。	流氷はシベリア沿岸で発生し、海流に乗ってオホーツク海を南下して北海道の北東岸に到達します。かつては漁船の出港を妨げるなどの負の側面が強調されましたが、現在では砕氷船（ガリンコ号やオーロラ号）による観光や、流氷とともにやってくるクリオネなどの観察といった観光資源としての側面が重視されています。他の選択肢にある冷害の原因は主に夏の「やませ」などであり、流氷の性質とは異なります。
問6	答え 1 夏季に発生する霧の影響で気温が上がりにくいため、稲作よりも、冷涼な気候に適した酪農が盛んに行われている。	釧路湿原に代表される道東の太平洋側は、夏の季節風と寒流の影響による海霧で気温が上がらないため、米作りには適していません。そのため、この冷涼な気候を活かして、乳牛を飼育する酪農が大規模に行われています。選択肢にある「豪雪地帯」は主に日本海側の特徴であり、「温暖な海流」や「促成栽培」は宮崎県や高知県などの南日本の特徴です。
問7	答え 1 一戸あたりの作業範囲が広いため、生産効率を高める機械化が不可欠となっている	農家数に対して耕地面積が広大であるということは、農家一戸が管理しなければならない面積が非常に大きいことを意味します。人の手による作業だけではこの広大な土地をカバーできないため、大型機械を活用した大規模経営を行うことで、一戸あたりの生産性を高める工夫がなされています。これが、北海道が日本最大の食料供給基地と呼ばれる理由の一つです。
問8	答え 1 ユネスコ	知床の流氷が育む豊かな生態系や、屋久島の樹齢数千年を超える屋久杉などは、人類全体で守るべき価値があるとして世界遺産（自然遺産）に登録されました。こうした遺産の選定や保護を主導しているのがユネスコです。よく似た名称のユニセフ（国連児童基金）は、子供の権利保護や支援を目的とした組織であり、混同しないよう注意が必要です。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 濃霧	北から流れてくる寒流である千島海流（親潮）の上を、夏に南東から吹く暖かく湿った空気が通る際、海面付近で急激に冷やされることで水蒸気が水滴となり、霧が発生します。釧路市などの太平洋沿岸部では、この霧が太陽の光を遮るため、夏でも気温が上がりにくく、日照時間が短くなるという気候特性が見られます。
問2	答え 1 公共交通機関と宿泊施設を結ぶ二次交通の利便性向上と、官民連携による環境整備	特定の季節に外国人客が集中すると、移動手段の不足や言語の壁といった課題が生じます。これに対し、タクシーやバスなどの「二次交通」を柔軟に運用し、民間企業と自治体が役割を分担して観光客の受け入れ体制を整えることが、二セコモデルの本質的な取り組みです。
問3	答え 1 世界屈指の雪質を求めて海外から多くのスキー・スノーボード客が訪れるため	二セコ周辺は「パウダースノー」と呼ばれる質の高い雪が海外で高く評価されており、オーストラリアを中心とした海外からの観光客が冬のレジャーを目的に集中的に訪れます。統計データにおいて冬季の宿泊客が突出しているのは、この季節的なアクティビティが観光需要の核心となっているためです。
問4	答え 1 1戸あたりの耕地面積が広く、大型機械を活用した大規模な土地利用型農業が行われている	北海道の農業は、他都府県と比較して農家1戸あたりの経営面積が非常に大きいことが最大の特徴です。特に小麦や大豆、てんさいなどの畑作においては、トラクターなどの大型農業機械を導入した「土地利用型農業」を行うことで、少ない労働力で広大な面積を管理し、高い生産性を実現しています。これにより、国内の小麦需要を支える重要な供給源となっています。
問5	答え 1 食料品工業	北海道は、広大な農地を活かした大規模な農業や、豊かな漁場を背景とした漁業が非常に盛んです。これらの豊富な農水産資源を加工し、乳製品や水産加工品、砂糖などを製造する工業が発展しているため、工業生産全体に占める割合が全国平均と比べて極めて高いことが特徴です。
問6	答え 1 客土	泥炭地は植物の遺骸が腐敗しきらずに堆積した土地で、水分が非常に多く農業に適しません。この土地に別の場所から良好な土を運び込んで層を作ることを「客土（かくど）」と呼びます。この作業によって土地の質を改善し、排水施設で水分を除くことで、ジャガイモやテンサイなどの畑作や、牧草地としての利用が可能になりました。
問7	答え 1 水分を多く含み農業に不向きな泥炭地を改良するため、他から土を運び入れる客土が行われた。	石狩平野の大部分は、寒冷な気候により植物の分解が進まずに積み重なった「泥炭地」でした。この土地は米作りに必要な温度を保ちにくく、また地盤も軟弱でしたが、明治時代以降、他の土地から質の良い土を運び入れる「客土」や、排水路の整備といった大規模な土地改良が続けられました。この努力に加え、寒さに強い品種改良が進んだことで、北海道は日本有数の米どころとなりました。火山灰地の改良（客土）は主に十勝平野などで見られる特徴です。
問8	答え 1 ユネスコ	知床の流水が育む豊かな生態系や、屋久島の樹齢数千年を超える屋久杉などは、人類全体で守るべき価値があるとして世界遺産（自然遺産）に登録されました。こうした遺産の選定や保護を主導しているのがユネスコです。よく似た名称のユニセフ（国連児童基金）は、子供の権利保護や支援を目的とした組織であり、混同しないよう注意が必要です。
問9	答え 1 アイヌ民族	北海道には古くから、独自の文化を持つ先住民族であるアイヌの人々が暮らしてきました。現在でも北海道の多くの地名は、彼らの言語である「アイヌ語」に由来しています。例えば「稚内」はアイヌ語で「冷たい水の出る川」という意味の言葉に由来するなど、地域の自然の特徴が名前に反映されていることが多くあります。

問1 北海道の北東側に位置するオホーツク海から、冬に沿岸へ押し寄せ、解ける際に多くの栄養分を海に供給する氷の塊を何というか。（2025年 青森県公立入試 類似）

1. 流氷 2. 親潮 3. 季節風 4. 寒流

問2 北海道の東部に位置し、北方領土を間近に望むことができる岬の名称と、その周辺に広がる日本最大の湿原であり、タンチョウの生息地としてラムサール条約にも登録されている場所の組み合わせとして正しいものを、次のうちから選びなさい。（2021年 鳥取公立入試 類似）

1. 納沙布岬と釧路湿原 2. 宗谷岬と釧路湿原 3. 納沙布岬とサロベツ原野 4. 知床岬と石狩平野

問3 石狩川の上流域に位置し、旭川市などを中心とする上川盆地で見られる大規模な農業の特色として、最も適切なものはどれですか。（2016年 群馬県公立入試 類似）

1. 石狩川の豊富な水資源と土地改良によって作られた、広大な水田が広がる稲作地帯である
2. 冷涼な気候を活かして、牛を飼育し生乳を生産する酪農が最も盛んな地域である
3. 大規模な機械を用いた、小麦やてんさい（ビート）を生産する畑作が中心の地域である
4. 夏の涼しさを利用して、キャベツやレタスなどを出荷する高原野菜の栽培が中心である

問4 北海道の農業は、広大な土地を活かした大規模経営が特徴です。農家一戸あたりの耕地面積が全国平均と比べて極めて大きい背景や、その生産体制に関する説明として正しいものはどれですか。（2016年 京都公立入試 類似）

1. 明治時代以降の開拓により一区画の農地が広く設定されたため、大型機械による効率的な生産が進んだ
2. 山がちで複雑な地形が多いため、小さな耕地を多数の農家で分け合い、人力による丁寧な管理が行われている
3. 農業産出額を増やすために、狭い土地に多くの肥料や労働力を投入する集約的な農業が発達した
4. 冷害を避けるために、ビニールハウスなどの施設を小規模な土地に密集させて栽培する方法が普及した

問5 北海道の各地域の自然環境について述べた文のうち、網走や紋別などを含むオホーツク海沿岸の特色として最も適切なものはどれですか。（2024年 福島県公立入試 類似）

1. 冬になるとシベリア沿岸から凍結した海水が運ばれ、海岸を埋め尽くすことがある。
2. 夏に千島海流（親潮）の上を吹き渡る湿った冷たい風の影響で、濃霧が発生しやすい。
3. 十勝平野を中心に火山灰の土壌が広がっており、大規模な畑作や酪農が行われている。
4. 対馬海流の影響を強く受け、冬には北西の季節風によって日本海側に大量の雪をもたらす。

問6 北海道の北東部に位置し、冬になるとシベリア沿岸から流れてきた「流氷」が網走や紋別、知床半島の沿岸に押し寄せることで知られる海域の名称を選びなさい。（2025年 群馬公立入試 類似）

1. オホーツク海 2. 日本海 3. 太平洋 4. 東シナ海

問7 北海道には「稚内（わかかない）」や「室蘭（むろらん）」など、特徴的な響きを持つ地名が多く存在します。これらの地名は、北海道やその周辺諸島に古くから住み、独自の言語や文化を築いてきた先住民の言葉に由来しています。この人々の名称として正しいものを選びなさい。（2016年 群馬県公立入試 類似）

1. アイヌ 2. 屯田兵 3. えみし 4. 防人

問8 北海道の産業構造の特徴について、市町村別の就業者割合をまとめた資料によると、道東や道南の広い範囲を含め、多くの地域で共通して高い水準にある産業分類があります。商業や観光業、医療・福祉といったサービス業を含むこの産業分類として、正しい名称を選びなさい。（2026年 三重公立入試 類似）

1. 農林水産業を主体とする第一次産業
2. 製造業や建設業を主体とする第二次産業
3. 商業やサービス業を主体とする第三次産業
4. 先端技術や情報通信を主体とする第四次産業

問9 北海道において、近年、冬季の外国人宿泊者数が夏季の宿泊者数を上回るほどに急増している背景として、最も適切な理由はどれですか。（2018年 山形公立入試 類似）

1. 質の高い雪（パウダースノー）を求めて来日するスキー客の増加や、雪まつりなどの冬特有の観光資源が海外で高く評価されているため。
2. 冬季は夏季に比べて航空運賃や宿泊代金が大幅に安くなるよう、国と地方自治体が連携して大規模な割引政策を継続しているため。
3. 夏季の北海道は梅雨の影響で天候が不安定になることが多く、天候の安定した冬季に観光客が集中するようになったため。
4. 冬季の農閑期を利用して、外国人観光客を対象とした大規模な農作業体験ツアーが全道各地で定着したため。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 流氷	冬にシベリア方面からオホーツク海を南下してくる氷の塊であり、北海道の沿岸に接岸する現象である。アムール川などからの豊富な栄養分を含んでおり、豊かな生態系を支える要因となっている。親潮（千島海流）は寒流の一種であり、海流そのものを指すため、氷の塊である流氷とは異なる。
問2	答え 1 納沙布岬と釧路湿原	北海道の最東端に位置する根室市の納沙布岬からは、歯舞群島などの北方領土を視認することができます。また、その西側に位置する釧路湿原は、かつての海が後退して形成された日本最大の湿原であり、絶滅危惧種であるタンチョウの繁殖地として国際的に重要な湿地であるため、ラムサール条約に登録され保護されています。
問3	答え 1 石狩川の豊富な水資源と土地改良によって作られた、広大な水田が広がる稲作地帯である	北海道の旭川市周辺に広がる上川盆地は、かつては泥炭地などが広がる耕作に不向きな土地もありましたが、大規模な土地改良と石狩川の水の利用によって、日本有数の稲作地帯へと発展しました。北海道において酪農が盛んなのは主に根釧台地、畑作が盛んなのは十勝平野といったように、地域ごとの農業の特色を区別することが重要です。
問4	答え 1 明治時代以降の開拓により一区画の農地が広く設定されたため、大型機械による効率的な生産が進んだ	北海道は広大な平野や台地が広がっており、明治時代の開拓使などによる開発によって、当初から一戸あたりの耕地面積が大きく設定されました。このため、都府県のように限られた土地に労働力を大量投入する形態ではなく、大型の農業機械を導入して一人あたりの作業面積を広げることで、高い生産性を実現する経営が行われています。
問5	答え 1 冬になるとシベリア沿岸から凍結した海水が運ばれ、海岸を埋め尽くすことがある。	オホーツク海沿岸の最大の特徴は、冬に見られる流氷です。これはアムール川からの淡水流入などで塩分濃度が低くなった海域で氷が形成され、それが南下してくることで起こります。他の選択肢については、夏の濃霧は太平洋側、火山灰土壌（シラスや黒土）による大規模農業は十勝平野など、日本海側の豪雪は季節風と対馬海流の影響によるものであり、地域ごとの気候区分を正しく理解しておくことが重要です。
問6	答え 1 オホーツク海	北海道の北東側に位置するこの海域は、シベリアのアムール川から流れ込む淡水の影響で塩分濃度が低くなり、冬の厳しい寒さによって海水が凍り、流氷が形成されます。網走や紋別では観光船による流氷見学が盛んであり、知床半島は流氷がもたらす栄養分によって豊かな生態系が保たれていることから世界自然遺産に登録されています。
問7	答え 1 アイヌ	北海道の地名の多くは、先住民であるアイヌの人々が使用していた「アイヌ語」に由来しています。例えば「稚内」はアイヌ語で「冷たい水の出る川」を意味する言葉が語源となっており、自然の地形や特徴を反映した地名が各地に残されています。屯田兵は明治時代に北海道の開拓と北方の警備を兼ねて全国から送り込まれた兵士を指すため、先住民とは異なります。
問8	答え 3 商業やサービス業を主体とする第三次産業	北海道は大規模な農業が盛んなイメージがありますが、実際の就業者数の構成比を見ると、他の都府県と同様に商業や観光業、サービス業などの第三次産業に従事する人の割合が最も高くなっています。特に道東や道南などの地域においても、豊かな自然資源を活かした観光業や、地域住民の生活を支えるサービス業が産業の主力的存在となっているため、広い範囲でこの割合が高くなっています。
問9	答え 1 質の高い雪（パウダースノー）を求めて来日するスキー客の増加や、雪まつりなどの冬特有の観光資源が海外で高く評価されているため。	北海道の冬季観光は、海外から「JAPOW（Japan Powder Snow）」と称賛される質の高い雪を目的としたスキー・スノーボード客によって牽引されています。加えて、さっぽろ雪まつりなどの冬のイベントも国際的な認知度が高まっており、これらが2012年から2016年にかけての宿泊者数急増の主な要因となりました。一方、北海道には本州のような梅雨がほとんどないため、天候を理由とした夏季の敬遠は当てはまりません。

問1 北海道の日本海側から太平洋側にかけての地形断面図を分析したとき、中央部の険しい山地を挟んで西側と東側に位置する平野の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2021年 岩手県公立入試 類似）

1. 西側に石狩平野、東側に十勝平野
2. 西側に十勝平野、東側に石狩平野
3. 西側に根釧台地、東側に十勝平野
4. 西側に石狩平野、東側に根釧台地

問2 日本の生乳処理量を調査した統計において、バターやチーズの原料となる「加工用生乳」の処理量は北海道が全体の約89.3%と圧倒的であるのに対し、直接飲むための「飲用生乳」の処理量は関東や中京圏などでも高い数値を示しています。このような違いが生じる背景について正しく述べたものはどれですか。（2022年 埼玉県公立入試 類似）

1. 北海道は広大な土地を活かした大規模な酪農が行われているが、遠方の大消費地へ鮮度を保ったまま届ける必要がある飲用牛乳よりも、保存のきく乳製品への加工に重点を置いている。
2. 大都市周辺では牛の飼料となる牧草を自給する広大な牧場を確保しやすいため、鮮度が求められる飲用牛乳の生産を独占している。
3. 加工用生乳は飲用生乳に比べて腐敗しやすいため、消費地から遠く離れた北海道のような冷涼な地域で集中的に加工する必要がある。
4. 飲用牛乳は加工品よりも市場価格が低いため、輸送コストを抑える目的で、すべての都道府県において消費量に見合った自給自足が行われている。

問3 世界自然遺産である知床半島において、エコツーリズムを推進するために設置されている「高架木道」について、地面から高く浮かせて設置されている理由として最も適切な説明はどれですか。（2021年 熊本県公立入試 類似）

1. 歩行者が地面の植物を踏みつけるのを防ぎ、かつヒグマなどの野生動物との距離を保つため
2. 冬の間降り積もる深い雪に道が埋もれないようにし、一年を通じて観光を可能にするため
3. 地熱による木材の腐敗を防止し、メンテナンスにかかる費用を最小限に抑えるため
4. 森林火災が発生した際に、木道が防火帯として機能し、延焼を食い止めやすくするため

問4 北海道では、サケの稚魚を人工的に育ててから川へ放流する取り組みが盛んに行われています。このような、自然の再生産能力を補い、水産資源を維持・増大させるために行われる「栽培漁業」の仕組みとして、最も適切な説明はどれですか。（2019年 岡山公立入試 類似）

1. 卵からかえした稚魚を、自力で生き抜く力がつくまで育ててから放流し、成長後に漁獲する。
2. 海の一部を網などで囲った生け簀（いけす）の中で、稚魚から成魚になるまで餌を与えて育てる。
3. 海岸近くの浅瀬に産卵場所を人工的に作り、自然に卵が孵化して育つのを待ってから漁獲する。
4. 大型の漁船を用いて遠くの公海まで出向き、回遊している魚を網で一度に大量に漁獲する。

問5 北海道の太平洋側に位置する苫小牧市の気候の特徴について、年間を通じた気温と降水量の傾向を説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2023年 長野県公立入試 類似）

1. 年平均気温が8度前後で、夏（7・8月）の平均気温が20度程度と冷涼であり、冬の降水量は日本海側の都市と比較して非常に少ない。
2. 年平均気温が15度を超え、年間を通じて温暖であるが、梅雨の影響を受けにくいいため、夏よりも冬の降水量が極端に多くなる。
3. 日本の典型的な日本海側の気候を示し、冬は北西の季節風の影響で雪が多くなるため、夏よりも冬の降水量が大幅に上回る。
4. 内陸部に位置するため夏と冬の寒暖差が激しく、夏は30度を超える日が多い一方で、年間降水量は1000mmに満たない。

問6 北海道の農業の土地利用の状況について、東北地方と比較して述べた文として正しいものはどれですか。（2023年 福島県公立入試 類似）

1. 東北地方は全耕作面積に占める米の割合が高く米単作的な傾向があるが、北海道は米以外の作物も大規模に栽培されている。
2. 北海道は全耕作面積に占める米の割合が日本で最も高く、米への依存度が東北地方よりも顕著である。
3. 東北地方は冷涼な気候のため米以外の畑作が中心だが、北海道は広大な土地のほぼすべてを米の栽培面積に割り当てている。
4. 北海道と東北地方はともに全耕作面積のほとんどが米で占められており、栽培面積の実数においても地域的な差異は見られない。

問7 面積が約83,424平方キロメートルと都道府県で最大であり、多くの外国人観光客も訪れる北海道において、2005年に世界自然遺産に登録された半島はどこか。周辺にはラムサール条約に登録された湿原も存在し、豊かな生態系が守られている。（2017年 愛知公立入試 類似）

1. 知床半島
2. 積丹半島
3. 根室半島
4. 下北半島

答え合わせ・解説

問1	答え 1 西側に石狩平野、東側に十勝平野	北海道の中央部にある大雪山系などの山地を境にして、西側（日本海側）には石狩川の下流に広がる石狩平野があり、東側（太平洋側）には大規模な畑作が行われている十勝平野が位置しています。
問2	答え 1 北海道は広大な土地を活かした大規模な酪農が行われているが、遠方の大消費地へ鮮度を保ったまま届ける必要がある飲用牛乳よりも、保存のきく乳製品への加工に重点を置いている。	生乳の利用形態と産地の関係は、消費地との距離と「鮮度」の関係で説明される。北海道は日本の生乳生産の大部分を担っているが、東京などの大消費地から距離があるため、輸送中に鮮度が落ちやすい飲用牛乳としての出荷には不利な側面がある。そのため、北海道では生乳をバターやチーズといった保存のきく乳製品に加工してから全国へ流通させている。これに対し、千葉県や神奈川県などの大都市近郊では、輸送距離の短さを活かし、鮮度が求められる飲用牛乳の供給に特化した酪農が行われている。
問3	答え 1 歩行者が地面の植物を踏みつけるのを防ぎ、かつヒグマなどの野生動物との距離を保つため	知床のような貴重な生態系が残る場所では、観光利用が自然破壊につながる「観光公害」を防ぐ必要があります。木道を地面から浮かせることで、貴重な植物の踏みつけを物理的に回避できるほか、電気柵を併設することでヒグマが木道内に侵入するのを防ぎ、野生動物との適切な距離を保ちながら安全に自然観察を行うことが可能になっています。これは、環境保護と観光資源の活用という、制度の目的を具現化した仕組みです。
問4	答え 1 卵からかえした稚魚を、自力で生き抜く力がつくまで育ててから放流し、成長後に漁獲する。	北海道のサケ漁などで代表されるこの方法は、自然界での生存率を高めるために、成長の最もデリケートな時期だけを人間が手助けする仕組みです。これに対し、出荷までずっと人間が餌を与えて管理し続ける方法は「養殖業」であり、放流を伴う栽培漁業とは明確に区別されます。
問5	答え 1 年平均気温が8度前後で、夏（7・8月）の平均気温が20度程度と冷涼であり、冬の降水量は日本海側の都市と比較して非常に少ない。	苫小牧市は北海道の太平洋側に位置しており、寒流である千島海流（親潮）の影響を受けるため、夏でも平均気温が20度前後と冷涼な気候になることが大きな特徴です。また、冬は大陸からの湿った季節風が山脈によって遮られるため、金沢などの日本海側の都市に比べて降水量（降雪量）が非常に少なくなります。年間の降水量は1200mm程度であり、極端に乾燥しているわけではありませんが、冬の乾燥と夏の冷涼さが太平洋側の気候を象徴しています。
問6	答え 1 東北地方は全耕作面積に占める米の割合が高く米単作的な傾向があるが、北海道は米以外の作物も大規模に栽培されている。	東北地方は伝統的に「日本の穀倉地帯」と呼ばれ、全耕作面積に占める米の栽培面積の割合が高い「米単作的」な傾向が強い地域です。一方、北海道も米の栽培面積の実数（ヘクタール）では最大級の規模を持ちますが、同時に小麦、豆类、てんさい（砂糖の原料）、じゃがいもといった畑作物や、大規模な酪農も並行して行われています。このため、農地の全体像を比較すると、北海道は東北地方よりも農業の多様性が高く、結果として全耕作面積に占める米の割合は低く抑えられることとなります。
問7	答え 1 知床半島	北海道の北東部に位置する知床半島は、流氷がもたらすプランクトンを起点とした海と陸の豊かな食物連鎖が評価され、世界自然遺産に登録されました。また、北海道には釧路湿原などラムサール条約（特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約）に登録された湿地が数多く存在します。

問1 北海道の十勝平野などで行われている、同じ土地に異なる種類の作物を数年ごとに順序立てて栽培する「輪作」の目的として、最も適切な説明はどれですか。（2018年 長野県公立入試 類似）

1. 特定の病害虫の発生を抑え、土壌の肥沃さを維持して連作障害を防ぐため。
2. 1年間に同じ土地で2種類の作物を栽培し、土地の利用効率を最大限に高めるため。
3. ビニールハウスなどの施設を利用して成長を早め、出荷時期をずらして収益を上げるため。
4. 機械化による作業効率を向上させるため、1つの農地で1種類の作物のみを栽培し続けるため

問2 北海道の知床半島のすぐ東側に位置し、択捉島、色丹島、歯舞群島とともに、日本固有の領土でありながら現在はロシアによって法的根拠なく占拠されている島を何というか。（2019年 岡山公立入試 類似）

1. 国後島
2. 択捉島
3. 色丹島
4. 歯舞群島

問3 日本国内で最大の小麦収穫量を誇る北海道において、生産効率を高めるために展開されている農業経営の特色として、最も適切な説明はどれですか。（2020年 大阪公立入試 類似）

1. 1戸あたりの耕地面積が広く、大型機械を活用した大規模な土地利用型農業が行われている
2. 大消費地に近い立地を活かし、限られた土地で付加価値の高い野菜を作る集約的な農業が行われている
3. 温暖な気候を利用して、同一の耕地で年に2回異なる作物を栽培する二毛作が行われている
4. 山間部の傾斜地に作られた階段状の畑を利用し、手作業を中心とした緻密な農業が行われている

問4 北海道の倶知安町やニセコ町における外国人宿泊客数の統計では、12月から3月にかけての冬季の客数が突出して多く、他の月との格差が非常に大きいという特徴が見られます。このような宿泊客の動向が生まれている地理的な背景として、最も適切な説明はどれですか。（2025年 群馬公立入試 類似）

1. 世界屈指の雪質を求めて海外から多くのスキー・スノーボード客が訪れるため
2. 夏休みの期間を利用した大規模な農業体験が外国人家族連れに普及しているため
3. 梅雨のない気候を求めて、アジア圏から多くの避暑客が長期滞在するため
4. 流水を観察するための砕氷船観光が、外国人観光客の最大の目的となっているため

問5 北海道の道央部に位置し、広大な石狩平野の中に広がる北海道の道庁所在地について、その都市名と特徴を説明したものとして正しいものはどれですか。（2025年 茨城公立入試 類似）

1. 札幌市は、道庁所在地として政治・経済の中心地となっており、冬には石狩平野の積雪を利用した「雪まつり」が開催される。
2. 旭川市は、石狩平野の南端に位置する道庁所在地で、周辺では大規模な稲作が行われている。
3. 函館市は、道南地方の政治の中心地であり、青函トンネルを通じて本州との結びつきが強い道庁所在地である。
4. 釧路市は、道東地方の石狩平野に位置する道庁所在地で、霧が発生しやすい気候を利用した乳牛の飼育が盛んである。

問6 水産資源を安定的に確保することを目的として、卵から人工的にふ化させた稚魚を、外敵から守れる環境である程度まで育ててから自然の海や川へ放流し、成長した後に再び漁獲する漁業の形態を何といいますか。（2019年 岡山公立入試 類似）

1. 栽培漁業
2. 養殖業
3. 遠洋漁業
4. 沖合漁業

問7 北海道は日本最大の米の栽培面積を誇りますが、各都道府県の全耕作面積に占める米の割合を示した統計では、東北地方の多くの県よりも低い数値となっています。このような数値が示される理由として、北海道の農業の特色を踏まえた適切な説明はどれですか。（2023年 福島県公立入試 類似）

1. 小麦やてんさい、酪農などの米以外の作物の生産も盛んであり、農業の多様性が高いため
2. 冷涼な気候の影響で米の栽培が制限されており、米の生産量が日本で最も少ないため
3. 大規模な土地利用は行われているものの、農地の大部分が住宅地や工業団地に転用されているため
4. 東北地方に比べて一戸あたりの経営面積が小さく、米の栽培に特化した効率的な農業が困難なため

問8 世界遺産に登録されている知床では、多くの観光客が訪れる一方で、自然環境を破壊しないための対策が取られています。湿原や高山植物が広がるエリアに「木道」が設置されている主な目的として、最も適切な説明はどれですか。（2021年 千葉県公立入試 類似）

1. 観光客が地面を直接踏み固めて、貴重な植物の成長を妨げないようにするため
2. ヒグマなどの野生動物が、人間の歩行ルートに侵入できないように物理的に遮断するため
3. 周辺の森林から切り出された木材の輸送を効率化し、地元の林業を活性化させるため
4. 大雨が降った際に地面の侵食を防ぎ、土砂が海へ流出するのを食い止めるため

答え合わせ・解説

問1	答え 1 特定の病害虫の発生を抑え、土壌の肥沃さを維持して連作障害を防ぐため。	同じ土地で同じ作物を繰り返し栽培し続けると、特定の病害虫が発生しやすくなったり、土壌の養分が偏ったりして作物の育ちが悪くなる「連作障害」が発生します。これを防ぐために、豆類、小麦、てんさい、じゃがいもといった性質の異なる作物を順番に植え替えることで、土地の生産性を維持しています。
問2	答え 1 国後島	国後島は、北海道の知床半島の東側に位置する島です。択捉島、色丹島、歯舞群島と合わせて北方領土と呼ばれます。北方領土の中で択捉島に次いで2番目に大きな面積を持ち、根室半島の先に位置する歯舞群島や色丹島などととも、一度も外国の領土になったことがない日本固有の領土ですが、第二次世界大戦の終結直後に当時のソ連によって占拠されました。
問3	答え 1 1戸あたりの耕地面積が広く、大型機械を活用した大規模な土地利用型農業が行われている	北海道の農業は、他都府県と比較して農家1戸あたりの経営面積が非常に大きいことが最大の特徴です。特に小麦や大豆、てんさいなどの畑作においては、トラクターなどの大型農業機械を導入した「土地利用型農業」を行うことで、少ない労働力で広大な面積を管理し、高い生産性を実現しています。これにより、国内の小麦需要を支える重要な供給源となっています。
問4	答え 1 世界屈指の雪質を求めて海外から多くのスキー・スノーボード客が訪れるため	ニセコ周辺は「パウダースノー」と呼ばれる質の高い雪が海外で高く評価されており、オーストラリアを中心とした海外からの観光客が冬のレジャーを目的に集中的に訪れます。統計データにおいて冬季の宿泊客が突出しているのは、この季節的なアクティビティが観光需要の核心となっているためです。
問5	答え 1 札幌市は、道庁所在地として政治・経済の中心地となっており、冬には石狩平野の積雪を利用した「雪まつり」が開催される。	札幌市は石狩平野に位置する北海道の道庁所在地であり、人口190万人を超える政令指定都市です。北海道の行政や経済の中枢機能を持ち、毎年冬に大通公園などを会場として行われる「さっぽろ雪まつり」は、国内外から多くの観光客を集める一大イベントとなっています。
問6	答え 1 栽培漁業	稚魚の時期は自然界において外敵に襲われやすく、生存率が非常に低いという課題があります。この期間を人間が管理する施設で保護してから放流することで、資源の回復を図ります。最後まで人間が管理して育てる養殖業とともに「育てる漁業」と呼ばれますが、最終的に自然の海へ戻す点が最大の特徴です。
問7	答え 1 小麦やてんさい、酪農などの米以外の作物の生産も盛んであり、農業の多様性が高いため	北海道は、一戸あたりの経営面積が大きく、大規模な機械化農業が行われているのが特徴です。米の栽培面積そのものは日本最大級ですが、それ以上に、冷涼な気候を活かした小麦、大豆、てんさい、じゃがいもなどの畑作や、広大な土地を利用した酪農も非常に大規模に展開されています。そのため、農業全体で見ると「米以外の作物」の占める割合が大きく、米の単作傾向が強い東北地方の各県に比べて、全耕作面積に対する米の比率は相対的に低くなります。このように、多様な作物を組み合わせた大規模な農業経営が行われていることが北海道の大きな特色です。
問8	答え 1 観光客が地面を直接踏み固めて、貴重な植物の成長を妨げないようにするため	知床のような貴重な自然環境では、観光客が自由に歩き回ると足元の植物が踏み荒らされたり、土壌が踏み固められて植物が育たなくなったりする「踏みつけ」の被害が発生します。木道を設置することで観光客の動線を限定し、環境保護と観光利用の両立（エコツーリズム）を図っています。